ＹＷＶＯＢ会 会報 No.18

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部ＯＢ会

２０００年１２月１６日発行

第１章　２００１年度総会報告

常任幹事会副幹事長：藤井　(33)

１）当日の模様

去る１０／２８(土)、蓼科温泉の親湯で２００１年度ＹＷＶＯＢ総会が開催された。一昨年の五八木総会に続く宿泊を伴う総会だが、今回は地の利を活かして初のＯＢ山行を組み合わせた。当日は１１時頃から会員が徐々に集まり、早めにチェックインした幹事部屋で、昔のアルバムやスカイラインを囲んでの話、総会の直前打合せが行われた。渋滞で遅れた会員もいたが、定刻１４時にはほぼ全員が集合し開会した。

総会は、窓一面の紅葉をのぞみながら進行。嘉納会長による挨拶に始まり、定則数の確認、新入会員承認、報告事項、事業計画紹介などが質疑を交えながら進められた（議事録参照）。１６：３０に総会が終わった後、各自温泉などに入り、懇親会が始まった。懇親会は各期の近況紹介や自己紹介をはさみながら進み、中には３０年ぶりに再会したケースも。もちろん締めは「みはるかす」大合唱とエール交歓。その後は一番広い部屋に全員が集合し２次会にもつれこんだ。持ち込んだ大量の酒とつまみを囲み、日付が変わってからもシンポジウムと称した様々なディスカッションが活発に続けられた。

宴会場のステージで記念写真

２）総会議事録

出席者	嘉納　(1)、吉野　(2)、宮崎　(2)、斉藤　(4)、高田　(4)、郡司　(4)、菅谷　(6)、安藤　(11)、高橋　(11)、榎本　(12)、鈴木　(14)、小口　(14)、上野　(14)、狩野　(14)、高橋　(14)、中島　(15)、笹倉　(30)、藤井　(33)、田村　(34)、松下　(34)、井口　(34)、小野　(34)、細谷　(38)、山崎　(39)、後藤　(39)、覚田　(40)、金丸　42)、小林　(43)、梶ヶ谷　(43)、杉浦　(44)、志賀　(44)　以上　名

開会宣言　（嘉納会長）

「ＯＢ会は過去を懐かしむだけの存在ではない。おおいに活動するＯＢ会を目指し、昨年会則や役員を決め、活性化の第一歩を踏み出した。小屋維持や会報では献身的な努力がなされている。

会費の納入は１５０人、全会員の約３割。これは優秀な数字ではあるが、今後は２５０人を目指す。そのためにはＯＢ会が面白いこと、役立つことをＰＲして人数を増やすしかない。

ＹＷＶ創立５０周年まであと７年。５０周年をきちんとやることを念頭に入れて活動していきたい。小屋再建を目玉とすることも検討に値する。新たに建てると　　円。これは２００人が　　円ずつ出すことによっても達成できる。しかし２０００円の会費を１５０人しか払っていない状況では非現実的だ。熱心な会員が毎年　　円ずつ積みたてていっても達成できるが、そこまでの活性化はしていない。ＯＢ会としても様々な発想で活性化を図っていくので、会員の皆様の協力をお願いしたい。」

新会員承認

赤羽　(39)、池田　(39)、四方　(39)、竹内　(39)、中村　(40)、柚洞　(40)、平田　(41)の７名が新会員として承認された。それにより、ＯＢ会正会員数は　名となった。

「定足数について」対象会員数:　名、出席者:26名、書面による議決の委任者:223名、
書面による議決を委任した会員が属する「期」の総数:39期(27期以外の全期)
従って会則第38条に基づき、過半数の「期」の出席があるので、2001年度YWVOB総会は成立した。

関西支部報告　（宮崎関西支部長）

「関西支部は名簿上は２５名の対象者がいるはず。しかし大阪や京都といった関西中心部の人があまりいないのが難点である。メンバーが固定しつつあるので、メンバーの把握と募集がなかなか難しいのが現状。今期から支部として補助がもらえるので、来年は会計報告をしたい。」

宮崎関西支部長

ＯＢ会活動報告　（藤井副幹事長、田村総務委員長）

前年総会において承認された現組織の下、ＯＢ会の基本的役割である**「親睦活動」「ワンゲル活動」「現役との協調」「運営体制の確保」**を実践すべく、活動を始動した。

【２０００年度の活動内容】
- 会則の改正を受け、幹事会、総務委員会、小屋委員会の活動が本格始動した。
- ２０年ぶりの会報の復刊(16号)を実現し、さらに17号を発行した。
- 小屋委員会による小屋整備イベント「リフレッシュ２０００」が多数の参加により成功した。
- メーリングリストを機能の優れたサイトに移し変え、会報で登録の勧奨を行った。
- 初のＯＢ山行を立案した。
- 名簿のＤＢ化、情報収集の効率化を進め、99/11に最新名簿をほぼ全会員にe-mailと郵送で送付した。
  <会員状況('00/10/23)>部長等５名、正会員　名>

【総　括】
- 幹事会が正式に承認を受け、飛躍的に活動が充実した年度となった。
- 会報２冊の発行により、ＯＢ会活動の認知度が高まりつつある手応えを受けた。
- 会報原稿提供や小屋整備への参加による地方のＯＢの直接的な協力が得られた。
- 現役部員の参加により、現役の状況やＯＢ会に対する率直な考えを吸収できるようになった。
- １～４３期まで、幅広い年代の交流により、世代間ギャップが埋められつつある。

ＯＢ小屋委員会活動報告　（笹倉小屋委員長）

昨年ＯＢ小屋委員会の設立が承認されて以来、ほぼ毎月委員会を開催し、以下の取組みを行った。

（１）委員会の体制整備。

委員長	(全体取り纏め、委員会の召集)	笹倉　(30)
副委員長	(　〃　)	伊藤　(31)
会　計	(小屋会計統括、募金計画立案)	伊藤　(31)
管理・整備	(五八木との連絡、整備計画立案)	鈴木　(14)、田中　(34)
再　建	(再建計画)	郡司　(4)、伊藤　(31)、後藤　(39)、佐々　(37)
広報・宣伝	(小屋広報、利用状況集計、記録)	菅谷　(6)
委　員		池原　(8)、向井　(18)、宮崎　(30)、細谷　(38)、堀　(38)
現役連絡窓口		笠原　(41)、赤井　(43)

（２）小屋の利用実態調査を行い、会報１７号で公開。
（３）計３回のＯＢによる冬季除雪の実施。
（４）現役小屋の冬季除雪などの保守に関する交通費補助制度（ＯＢ会50%負担）を設置。
（５）９月３連休に現役・ＯＢ合同の小屋整備イベント「リフレッシュ２０００」を開催。
（６）小屋備品の棚卸しや整備の作業基準書の作成も行った。

２０００年度会計報告　（田村総務委員長）

２０００年度会計については、以下の内容で報告された。同時に、吉野監査役による監査報告書の嘉納会長への提出と、出席会員による承認が行われた。

会計期間1999.4.1～2000.9.30	
前期繰越金（1999.4.1）	①

2000年度収支計算書

収入	
1998年度会費	
2000年度会費	
2000年度寄付	
その他（前納など）	
利子	
ｽｶｲﾗｲﾝ寄付（下村蓉子さん）	
小屋寄付（嘉納）	
関西支部寄付	
総会会費	
	②

支出	
五八木お土産	
苗名小屋改修費（９９年分）	
振込み手数料	
五八木額代	
記念品代等	
総会昼食代	
総会飲食代	
総会案内・９９年分	
名簿発送代他幹事会費用	
第16号会報作成発送費	
第17号会報作成発送費	
小屋会計振替え	
幹事会開催補助	
その他支出	
	③
当期収支（②-③）	

次期繰越金（①+②-③）	④

未払金	
第17号会報作成発送費	
小屋会計振替え	
幹事会開催補助	
計	⑤

前受け金	
2001年度会費	
前納会費（2001-2006）	
2001年度小屋カンパ	
2001年度総会参加費	
名簿郵送費、その他収入	
計	⑥

帳簿残（④+⑤+⑥）	
次期繰越金	
未払金	
前受金	
計	*

預金残高（2000.9.30）	
振替口座	
普通口座	
計	*

２０００年度ＯＢ小屋委員会　特別会計決算報告

2000.1.1付で施行された「ＯＢ小屋委員会特別会計」については以下の内容で承認された。

収入の部	
OB会計から振替	
寄付（5期諸角氏）	
寄付（6期菅谷氏）	
収入合計	

支出の部	
ﾘﾌﾚｯｼｭ2000関連	
（備品関連）	
（食費関連）	
（現役交通費補助）	
修繕費	
除雪関連費	
通信費	
その他	
（北村氏見舞い品）	
（振込手数料）	
支出合計	
収支合計	0円･･･A-B

リフレッシュ２０００開催により、支出は当初予算額[＿＿＿＿]を超過（　　）したものの、当日の寄付金（＿＿円）や小屋関連寄付によるＯＢ会計からの振替増（　　円）があり、収支合計は０円となった。

役員退任、任命

ＯＢ幹事会の体制の充実を図ることを目的とした以下の内容が承認された。

【退任役員】	監　　査　　役：吉野　　(2)
【新 役 員】	会 計 幹 事 ：吉野　　(2) ＯＢ小屋副委員長：伊藤　　(31) ＯＢ小屋幹事委員：田中　　(34)、細谷　　(38) 監　　査　　役：井上　(3)
【新 理 事】	関西支部幹事　　：諸角　(5)

２００１年度の事業計画

＊２００１年度の事業計画および予算案は、第４章に別掲いたしましたのでご覧下さい。

主な質疑応答

Q．色々な形で寄付が集まっているが、会報に載せることは考えないのか？

A．小屋への物品寄付や現金の寄付があり、これは名前別にソートし、会報に載せることとする。

Q．メーリングリスト(ＭＬ)の活性化をいかに進めるのか？メール所持の会員の強制加入は考えないのか？

A．ＭＬは加入人数も大事だが、送ったメールに対して誰かがレスポンスすることが活性化のために効果的である。メール所持者の直接登録は会社アドレスも混在していることから当面考えていない。

Q．スカイラインの発行目途は？(現役部員に対し)

A．現在挿絵、写真が集まらず苦慮している。集まり次第編集し、発行したい。

Q．小屋の整備（特に雪降ろし）を業者に依頼することは考えないのか？

A．他大学ではやっているところもあるが、数十万円規模で費用がかかるため、苗名小屋では難しい。ただし、スポットで１回依頼する予算を今年度のＯＢ小屋会計では計上している。

以上

第２章　第１回ＯＢ山行報告　（１０／２９(日)・北横岳ピストン）

総務委員長：田村　　(34)

参加者	嘉納(1)、吉野(2)、宮崎(2)、高田(4)、斉藤　　(4)(別途散策)、安藤(11)、狩野(14)、上野　　(14)、上野さんご主人、鈴木(14)、小口(14)、中島(15)、笹倉(30)、藤井(33)、Ｌ田村(34)、松下(34)、小野(34)、井口(34)、細谷(38)

前日午後から崩れ始めた天気はＯＢ山行当日まで続いた。当日朝は雨＆ガス。沈滞ムードがやや旅館ロビーに漂う中、完全装備の嘉納会長が颯爽と現れると俄かに山行へのムードが高まる。１０時頃に車に分乗して旅館を発ち、ロープウェイ山麓駅に集合。上野ご夫妻は途中で道を間違えてしまい、後に合流することに。１１時、深いガスの中を出発。途中で散策コースに行く斎藤氏と別れる。その後坪庭を抜け、針葉樹林帯の中を高度を稼ぐ。前夜遅くまで語らっていたとは思えないほど軽やかな足取り。樹林帯の中で一度レストをし、１２時前に濃いガスと強風に覆われた北横岳南峰に到着。そのまま北峰まで足を伸ばす。誰もいない北峰では「みはるかす」を合唱、鈴木氏がエールをかけた。１２時、早々にピークを後にする。下山途中、遅れて到着した上野ご夫妻とすれ違う。来た道を順調に下山し１時前には山頂駅に到着。第１回ＯＢ山行は、悪天と前夜の深酒をものともしないＯＢのパワーにより、無事終了した。

ロープウェー山頂駅の休憩室で記念写真

第3章　苗名小屋リフレッシュ２０００報告　（9／１５(金)～１７(日)）

小屋委員長：笹倉　(30)

参加者	郡司(4)、諸角夫妻(5)、池原(8)、佐木(8)、鈴木(14)、小口(14)、笹倉(30)、藤井(33)、田中(34)、渡邊(36)、佐々(37)、細谷(38)、石川(41)、笠原(41)、佐野(42)、赤井(42)、金丸(42)、古谷(42)、梶ヶ谷(43)、志賀(44)、野島(44)、浅田さん(部外協力)　［事前準備段階での協力］菅谷(6)、伊藤(31)

９月３連休にＯＢ･現役共同で小屋初の大整備(ﾘﾌﾚｯｼｭ2000)を行った。今回の活動は除雪に続く小屋委員会主催の２回目の行事。妙高は天気に恵まれ、入念な準備と多数の参加により目標はほぼ達成された。懸案の屋根塗装や防腐剤塗りが終わったので次回はイベントを充実させたい。

小屋全景

１．リフレッシュ苗名小屋

朝１０時に五八木荘に一旦集合してから小屋に向かう。準備と昼食の後、屋根塗装、壁の防腐剤塗り、内部清掃や大工作業に分かれて作業を開始した。今回は２連梯子や電動工具、エンジン式草刈器を購入し、さらにレンタルや借用で発電器や掃除機、井戸ポンプを使用。その結果、普段手をつけにくい作業が効率的に進められた。屋根の古い塗装剥がしに予想以上の手間どったが、ペンキ塗りとあわせて２日目夕刻までに無事終わった。倉庫や小屋内も片付き、みちがえるほど綺麗に。今回は備品を揃える費用がかさんだが、今後のメンテに大いに活用可能。また、作業を安全に能率的に行うために作業基準書を作成した。

屋根の塗装

２．リフレッシュワンダラー（交歓会）

夜は杉野沢温泉で汗を流し、初日は小屋内で宴会、２日目夜は小屋前でＢＢＱ。小屋内の宴会では投光器を使い、まるで北アの小屋のような明るい賑やかな雰囲気に。２日目は小屋をライトアップし、焚火とＢＢＱセットを囲んでビールと酒を次々と消費した。また、五八木荘の岡田さんと北村さんに設置してもらったドラム缶風呂入浴という稀有な経験をした。焚火を囲んだ宴は３時頃まで続いた。

ドラム缶風呂

「前夜に車で行く旨申し込んだところ、皆様より泊まる所等親切なアドバイスをいただきました。30数年振りの小屋の状況が分からず、テント寝袋等一式持参の参加でした。しかし驚いたことに小屋は綺麗に使われており30数年経った小屋とは思えません。その上でのリフレッシュですから、快適度がさらに増しました。感心したのは、皆さんが黙々とよく働くことでした。皆さん本当にご苦労様でした。またお目にかかれる日を楽しみにしております。諸角(5)」

１４期から現役まで歴代主将が大集合

第４章　２００１年度の事業計画

ＯＢ会事業計画および2001年度予算：ＯＢ会常任幹事会
小屋委員会事業計画および2001年度予算：ＯＢ小屋委員会

ＯＢ会事業計画

会報発行	１８号（本会報）・・・苗名小屋ﾘﾌﾚｯｼｭ2000報告／総会＆山行報告／消息等 １９号（８月予定）・・ＯＢ山行報告／ﾘﾌﾚｯｼｭ2001案内／総会案内／消息等 予算状況により、追加発行を行う。
ＯＢ山行企画	定期行事としての定着を目指し、２００１年度は２回（３月と７月）実施。 ＯＢ会を通じて各ＯＢが山行メンバーを募集できる環境を拡大。
現役との連携	現役部員の少数化傾向を受け、ＯＢと現役の役割分担の整理を行う。
潜在会員の顕在化	＋１ＯＢ（プラスワンＯＢ）活動の実施（年間）。 →各役員と支援委員が最低1名、OB会に関わりを持つOBを確保(ML登録、原稿執筆、小屋整備等) 名簿情報の管理体制強化（消息不明を増やさぬよう、期別幹事と連携を強化） メーリングリストの登録数、発言数の増加のための施策を検討する。
役員業務の見直し	継続性を確保できる体制とする。 転勤や仕事環境の変化に柔軟に対応できるようにする。
収入の安定化施策	ＯＢ会の認知度を高めることによる納入会員の増加。 現金以外の寄付を受け入れる体制を実現する（図書券、切手、物品など）。

ＯＢ会２００１年度予算［2000.10.1～2001.9.30］

前期繰越	
収入	
項目	金額
（前納会費繰延分）	
年会費	
前納会費等年度分	
小屋寄付金	
同（諸角氏）	
総会参加費	
名簿郵送関連	
寄付金その他	
計	

支出	
項目	金額
会報作成・発行費（18号、19号）	
小屋委員会振替	
総会会議室使用料	
総会現役援助	
総会宿泊費他	
幹事会・委員会補助	
名簿郵送関連	
ｽｶｲﾗｲﾝ補助（内下村夫人　　）	
北村氏感謝状・記念品	
関西支部補助	
計	

当期収支

次期繰越	

（前納会費繰延べ分　　）

ＯＢ小屋委員会の事業計画

【方針】

①現役、ＯＢや家族友人が“多目的に”“いつでも”“気軽に”利用できる小屋を目指し整備する。
②ＯＢと現役の整備保守経験の蓄積を通じて保守・管理活動の効率化を図る。
③サポート会員の充実を図り、イベント性を有する行事を企画する。

【具体的活動】

定期保守・冬季除雪	計画除雪（現役主催１月・ＯＢ主催２月・合同開催３月） 夏～秋期定期整備（リフレッシュ２００１）
快適化	小屋独特の雰囲気を残しつつ、焚き火、ＢＢＱなどが出来る環境の整備。 日常的な清掃整備に必要な電源や、流し台の復活、水の確保を試みる。
資料整備	「小屋委員会運営規定」の策定。 気軽な利用を促進する「利用手引き」「苗名小屋利用マニュアル」の作成。

	「小屋整備マニュアル（夏期整備編、冬季除雪編）」の作成。
広報活動	小屋関連情報の共有化。 小屋に関する有益な情報や小屋便り等のＰＲ活動を推進する（会報）。 小屋の情報および小屋委員会の活動内容のメールングリスト上の公開。
小屋会計	「ＯＢ小屋委員会特別会計」に関する会計規程細則の策定
再建調査	現役、ＯＢ各位の判断材料を取り揃えることを目的とする。 苗名小屋設立経緯の再整理 過去の再建調査資料、アンケート調査資料の再整理 現状把握→利用状況分析の継続）、寿命診断、現状の維持費用整理

ＯＢ小屋特別会計２００１年度予算［2000.10.1～2001.9.30］

前期繰越	0
収入	
小屋寄付金	
同（諸角氏）	
計	

支出	
積雪期現地除雪外注費	
修繕・除雪関連費	
小屋関連活動諸雑費	
計	
当期収支	
次期繰越	
小屋修繕積立金	

第５章　会員便り

1」会員の近況　：総務委員会
2」第12回シニアの集い：郡司　(4)
3」１期の近況　：松本　(1)、藤岡　(1)
4」東海道を歩く：北見　(2)

会員近況

（２０００年総会出欠ハガキに寄せられた近況報告を抜粋いたしました。）

佐藤　(1)　会報１７号の苗名小屋特集に感無量の思いです。ＯＢ小屋委員会まで設立され、頑張る姿に感激しております。

吉田　(1)　三菱パーリントン㈱社長を去る６月退任し、現在三菱レイヨン㈱の顧問をしております。

平林　(3)　ご苦労様です。何もできませんがよろしくお願いいたします。主夫や地域活動を楽しく、忙しくやっています。

金田　(3)　今年の約半分はエジプト、カイロに出張。８月にシナイ山（約2200m）に登頂しました。

白井　(3)　退職し、今年からシニアOBの山行にボツボツ参加させて戴いています。テニス等身体は動かしていますが、体力の衰えはいなめず、少しづつ戻そうと努力中です。

高田　(4)　平成１２年３月３１日に退職し、現在家庭におります。

横山　(4)　元気にしています。

永田　(4)　遠方のため行事に参加できませんが、同期と連絡はとりあっておりますし、行事予定等読むだけで楽しませていただいております。今後もご連絡をお願いいたします。

斉藤　(4)　年２５回以上の山行を目標にして頑張っています。

中村　(5)　時々シニアＯＢ会に出席しています。いつもお世話戴きありがとうございます。

中村　(5)　パートワンダリングで行った神津島が地震の連続だと聞き、その時お世話になり３０年以上年賀状の行き来を続けている方に御見舞い申し上げました。地震が落ち着いたら３０数年振りに神津島へ行ってみたいです。

江角　(6)　８月下旬に富士山に登ります。通算６回目であります！

服部　(7)　下村弘道君追悼のために、勝手気ままな編集で「愛唱歌集」を作製し、ＯＢ会ＨＰや苗名小屋で公開しております。原稿の必要な方はＥＭＡＩＬをもらえば送ります。

加納　(7)　ＯＢ会幹事お世話様です。１０月は他の山行も重なり参加できませんが、次回は是非参加させて下さい。畑違いの社会保険労務士業頑張っています。社会保険、年金、定年退職時の手続き等講習いたします。

北村　(7)　ご苦労様です。秋は学校行事等が多く休むゆとりがありません。又の機会を楽しみにしています。

早坂　(8)　時間を見つけて夫婦で山歩きを継続中。今夏は奥穂高岳の快晴に恵まれました。

武藤　(8)　ＯＢ会にちっとも参加せず申し訳ありません。仕事と家庭と夫と旅行に結構忙しい日々をすごしています。今夏は１７日間のカナディアン鉄道の旅を楽しみました。皆さんのご尽力に感謝申し上げます。

綾部　(8)　会報１７号をありがとうございました。苗名小屋の除雪活動に参加された方々、本当にありがとうございました。除雪を終えての写真を見て懐かしさでいっぱいになりました。小屋が完成して、仲間と共に肩組みながら山の歌を喜びの心でうたった時のことが想い出されます。夏の終わりに主人(小屋で知り合いました)と３０数年ぶりに小屋を訪れてみようと思っています。

平沼　(8)　ＯＢの皆様、ご無沙汰しております。サラリーマンとして最後のご奉公をしています。あと５年で奉公あけになったら山行（月例）に積極的に参加する予定です（毎回30人の参加に１人追加となります）。現在は土・日はテニスorゴルフで体力維持をしています。「アルコールはダメ」と産業医に言われて、スポーツのあとはもっぱら「ウーロン茶」でお茶をにごしています。足腰は、何とか衰えるのを防ぐべく努力（１日１万歩etc）していますが、目と頭（内・外とも）の衰えは防げず、５年後に皆様のご尊顔を覚えているか今のところ定かではありません。以上

田中　(8)　楽をしたいのですが相変わらず第一線で働かされております。北八ツは懐かしい所でぜひ行きたかったのですが残念です。

高橋　(8)　お仕事の合間に、ＯＢ会のいろいろをして頂き、ご苦労様です。"苗名小屋"へいきたいと思いつつも、行っていません。維持していきたいものです。

須藤　(8)　一歩前進、二歩後退の状況ですが、商業衛星打上げの夢を追っております。

日渡　(9)　相変わらず１～２回／年のペースで山行しています。

三浦　(9)　今回は欠席させて頂きます。9期では東京地区にて時々会っております。

丸山　(10)　先輩２氏の訃報に驚いております。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

安藤　(11)　夏休みに１人で蓮華温泉－朝日岳－雪倉－白馬－唐松と縦走しました。途中全く逆コースを来た同期の鷲谷（途中退部）家族と雪倉岳頂上で会ったのは、驚きでした。

左藤　(12)　１４期川端君が丹沢で亡くなって３０年。7月中旬に１４期有志と宮ヶ瀬に行ってきました。ダムができて登り口は変わりましたが現場付近はあまり変わっていませんでした。

山川　(12)　仕事が忙しく、十分な運動が出来ない日々。この夏は少し頑張って北アルプスに行こうと思っています。と書きましたが、投函前に登ってきてしまいました。涸沢岳、奥穂、前穂と踏んで岳沢経由上高地へ。久しぶりで、きびしいですね。

海保　(13)　御苦労様です。総会、OB山行にあこがれつつ忙しさ及び体力不足、余裕のなさで欠席となりました。総会よろしくお願いします。山小屋も大事にしてあげて下さい。

上野　(14)　会の運営に当たってくださっている皆様、ありがとうございます。老母のことが少し安定したので、近場での山歩き（日帰り温泉つき）を再開しました。7月には25年ぶりに同期の人たちとも会って、ＯＢ会にも参加できれば・・・と思いました。

萩生　(15)　ここ数年、家族でオートキャンプを楽しんでおります。子供（１１，８才）も小さいため、どちらかというと旅行を安くあげるための手段です。１５，１６期の４人で、家族４軒で毎年行っております。

西浦　(15)　いつかＯＢ山行ご一緒させていただけることを楽しみに楽しみにしています！次は１０月の初めに?十年ぶりで尾瀬に行けることになりました。ただしなつかしい至仏山山行はなし・・・尾瀬沼散策ですが・・・これを機会に山へ行きたい。

小泉　(15)　ＯＢ会の運営・企画ご苦労様です。今年は（も？）忙しくて参加できませんが、ご盛会をお祈りいたします。同期の連中とも是非来年は・・・と話しております。

板垣　(16)　この夏は１１才の娘を含む家族３人と友人達で檜ヶ岳に登りました　ここのところ、年一クライマーになり下がっています。

池谷　(16)　7年前Scuba Divingのライセンスをとり、ダイビングにはまっています。9/20～9/26プーケット島に行ってきます。山は冬場のskiくらいですが、機会があれば東北の山をのんびり歩きたいと思っています。

葛窪　(17)　今年の夏は山へ行くことができなかったので秋こそは！！とプランを練っています。去年の秋、夫と友人が山小屋を利用させてもらい、また行きたいと言っています。

渡辺　(17)　職場の同僚がワンゲルの後輩とわかり、驚きました。息子、娘も大きくなり、また、山登りを始めよかなと思うこの頃です。幹事の方、いつも有り難うございます。

北沢　(17)　会報が充実していて読みごたえがありました。大学時代が思い出され少しセンチメンタルな気分になりました。

長谷　(17)　ご丁寧なご案内をありがとうございました。今のところ仕事子育て親の介護で忙しい日々を送っていますのでなかなか参加できませんが、そのうち是非皆様のお顔を拝見させていただきたいと願っています。

山口　(18)　少し前までは家族で山歩きをしておりましたが今は休業状態で淋しく思っております。
浜田　(18)　いつもご連絡いただきありがとうございます。
笛木　(19)　８／２２に３ヶ月程かけて回ったピースボートの地球一周クルーズより帰ってきました。横浜近郊で行う総会の折は、是非出席させていただきたいと思います。
小松　(19)　秋の親湯、美しいことでしょう。YWVの皆で晩秋(春？)深い雪の中、横岳の上に立ったことを懐かしく思い出しました。学校は２００２年に向けてのカリ作り等でとても忙しいです。
林　(19)　3 年程前までは厳冬期の南八ツにも登っていたのですが、このところ山から足が遠のいています。今夏は家族で大雪の黒岳にロープウェイでのラクラク山歩を楽しみました。
増田　(20)　いつもご苦労様です。
林栄　(20)　名古屋に引っ越しました。
西田　(20)　昨夏家族５人で苗場山に登りました。年に１回位はどこかに行こうと思っています。
作山　(20)　山々から離れて久しく、自分の体重の重さに日々耐える毎日です。
寺島　&　(22)折角ご連絡を頂きながら、欠席の返事となり申し訳ありません。子供の近所での行事と重なってしまい、出席できかねます。ＯＢ会の益々の発展を祈念します。
丸茂　(23)　多くの方からメールや郵送で小屋、現役の活動、ＯＢ総会のことなどをご連絡頂きながら勤務や子育てに追われ、お手伝いすることができないことが気掛かりです。
上村　(25)　２人の子供もやっと小学生になり、勤務先での部活動（陸上部）にも少しずつ力を入れられるようになりました。いつか子連れで山に登れる日を夢みている今日この頃です。現役部員の皆様、存分に山を楽しんで下さい。
永田　(25)　いつもご苦労様。海外国内と出張に忙しい毎日です。年数回山にﾘﾌﾚｯｼｭに行ってます。
佐々木　(26)　私をはじめ２６期のＯＢが、ご恩のあるＹＷＶに何も関わらず、申し訳ありません。
安本　(30)　皆様大変ご苦労様です。雪かきなどこれからはできる限り協力したいと思ってます。今後も連絡よろしくお願いします。尚、我が家は３才、１才の子育て奮闘中です。
土生　(30)　３月に子供が生まれました。
田中　(30)　松江の武家屋敷沿いに住んでいます。近くにお立ちよりの際には、ご一報下さい。
藤森　(30)　最近、シーカヤックを始めました。仕事が超多忙です。
松尾　(31)　忙殺の日々です。小屋の維持管理なかなかお手伝いできず申し訳なく思っています。
伊藤　(31)　8/6 に同期で集まって飲みました。年一回ペースですがそれ位が丁度よい関係です。
藤森　(32)　２才児を連れて山に行ったら大変だったので暫くはオートキャンプ位で楽しもうと思ってます。
福島　(35)　ＯＢ会の活発な活動に敬服するとともに、直接協力することができず申し訳なく思っています。最近は地元の小さい山には時々登りますが、遠出の山行は全く行けずじまいです。夏山の朝一のすがすがしさ、そのうち味わいに行きたいです。
富澤　(35)　行きたいと思っていながらなぜかご縁が無かった白馬岳に、やっと今夏、夫と行ってきました。「今度はどこか縦走しよう」と言ってるうちに秋になってしまいました。
佐々　(37)　今年の夏はほとんど山へ行けませんでした。
冨士田　(37)　総会には参加できませんがみなさんによろしくお伝えください。大学にあと１年以上はいるので、お手伝いできるところはしたいです。また声をかけてください。

第１２回ＹＷＶシニアＯＢの集いの報告

「第１２回ＹＷＶシニアＯＢの集い」は、１０／１４(土)に苗名小屋でお世話になっている五八木荘で開く予定でしたが、直前になって宿のダブルブッキングが判明する騒動がありました。結局岡田　さんの手配で最寄の原田荘に変更となり、遠隔地のためか従来より少な目の４９名が参加しました。

初日恒例の山行は飯縄山（Ｌ:池原(８)、参加者８名）と、志賀山（Ｌ：吉野(２)、参加者２３名)。

天気に恵まれ、両コース共に最盛期の紅葉と山頂での素晴らしい展望が参加者の心身をリフレッシュしました。志賀山の頂上で吉野Ｌの携帯電話に飯縄山頂の池原Ｌからコールが入りました。両者の直線距離は僅か３４ｋｍであるのに、雲に遮られ残念ながらお互いの山頂がハッキリ確認できませんでした。

参加者が志賀山コースに集中したのは、標高差３３０ｍで徒歩３時間半という志賀高原散策のイメージと、志賀山と四十八池巡りの変化に富むコースが人気の要因であったと思われます。実際に、参加者の中には最初の登りで渓川～前山リフトを利用した人もいました。それでも、裏志賀山の登りで直径約１５㎝の落石がわがパーティを直撃した時は、幸い事故には至りませんでしたが肝を冷やしました。

飯縄山コースは少数精鋭隊で、中社から飯縄山に登り瑪瑙山を経てスキー場経由で中社に戻る回遊ル

ートを歩いて、宴会直前になって宿に到着しました。

宿に集合後、嘉納会長、米屋ＹＷＶ部長、吉野幹事が岡田さんの案内で、苗名小屋の保守管理でお世話になっている北村千秋さんを訪問し、ＯＢ会から委託された感謝状と記念品(置時計)を贈呈してきました。

メインイベントのシニアＯＢの集いは、嘉納会長の挨拶に引き続き１０回参加者表彰が行われ、次の各氏が表彰状と記念品（ステンレス魔法瓶）を受賞されました。

・(連続１０回参加者) ---池原(8)、溝田(8)

・(１０回到達参加者) ---嘉納(1)、塚原(2)、井上(3)、腰塚(3)、亀井(5)

岡田さんが手違いを謝するため銘酒雪中梅を一升持参して宴会に参加されましたので、皆の前で飛び入りのご挨拶を頂きましたら上機嫌で大満足の様子でした。更にＯＢ総会報告(吉野)、リフレッシュ２０００報告(郡司)、シニアＯＢ会月例山行報告(塚原)などの後に、今年４月逝去された故下村弘道氏への黙祷を行いました。その後各期紹介、学生歌合唱、エール、集合写真撮影を済ませ一次会が終了しました。

会場を整備し、１時間後に二次会開始です。この間に内湯に入る者、苗名の湯まで出掛ける者など様々です。二次会はテーブルごとにまとまり、どのグループも夜更けまで飲み食い喋り、大いに盛り上がっていました。

翌日のコースは高谷池・黒沢池巡り（Ｌ:吉野、参加者７名）と、苗名小屋・笹ケ峰散策（Ｌ:塚原,参加者３１名）が行われました。池巡りコースは当初斉藤貞夫(4)リーダーの予定でしたが、最近山行頻度過多で膝関節を痛めてしまい、急遽吉野氏が代行することになりました。笹ケ峰から全身が黄色に染まる林を抜け、黒沢の河原で宿から持参した弁当の朝食です。難所の十二曲りを越えると、高妻山、乙妻山の向こうに北アルプス後立山の山並が見えてきました。高谷池や黒沢池の景色は、将に錦秋で赤と黄色の紅葉、緑の樅の木、岳樺の白い樹幹がオーケストラのハーモニーを奏でている様でした。笹ケ峰に下山した後に苗名小屋に立ち寄り、苗名の湯で汗を流して帰路につきました。苗名小屋・笹ケ峰散策コースには岡田さんが同行され、大半の人が初めての苗名小屋を見学した後、岡田さんの案内で皆がなめこ狩をしましたので、とてもよいお土産ができました。一部メンバーはここで帰りましたが、本隊は笹ケ峰ですばらしい紅葉となめこ汁を賞味して、小林一茶の故郷黒姫駅前で本場のそばを食し、秋の休日を満喫して帰りました。

復刻版・こがらし

3期　井上

十二月は木枯らしの季節です
それだけに空が澄み
それだけに星がきれいに見えます
木枯らしがつめたい夕暮れ
丘を下りながらのことでした

「あの山の端のが大いぬ座」
「うん」
「その上のが小いぬ座」
「うん」
「右に上がって四角の中に
三つ星がならんでいるのがオリオン座」
「うん」
「その上の五角形が駅者座」
「そんな上の星はいわないで」
「どうして」
「だって上を向くと首が寒いんだもの」

[解説]
これは清水ヶ丘に学舎があった時の話です。
清水ヶ丘から南太田への下り道でのことでした。
最後の一言は君子嬢です。

1 期 の 近 況

松本　(1)

ＯＢ会幹事のＰｏｗｅｒに敬服し、何かしら２１世紀に期待を持ちたい気持です。若さと吉野以下の老人Ｐｏｗｅｒ・中高年Ｐｏｗｅｒの融合で、日本も何とかなるのではと思います。

10／3、吉田(光)・望月・桑原・河野・田上・新川・松本で東京八重洲にて、新川退任・引退と吉田社長退任の会に出席し、引退以来始めて東京に行きました。望月氏と桑原氏が八ヶ掛に出るという元気に驚きました。

自分は今８０キロを越え、夏は草引きで漸く８０を切ったのに、９月以来の雨でサボったら元の木阿弥（最高 83.5、W107)。10/11～10/22 まで田舎へ帰り山仕事で少し減らそうと思っています。ともかく 75 キロくらいにならないと皆に迷惑を掛けるので努力中。

ＯＢ会役員のメールを読む度に、頭が下がると同時に一粒の種と歳月の重みにただただ感謝。よろしく。来年あたりから頑張ります。年末は妻の３回忌。来年の目標＝運転免許取得と歩きの四国遍路です。

藤岡　(1)

昨年は右肘変形性間接症の手術のため総会を欠席しましたが、結果良好でテニス、ゴルフ等支障はありません。今年はダイビングライセンスを家内共々取得し、沖縄本島、ケラマ諸島、石垣島とダイビング世界にはまっています。ダイビングはスポーツと言うより精神の癒しとして評価されています。家内をバディー（水中の相棒）として磁石頼りのナビゲーションは、地上より難しく、出発地点に戻ることが困難で、ガイドなしでは全く動けません。14 キロのタンクを背負った約 30 分の水中遊泳自体、奥の深い未知の世界の探索でもあり、水中ワンダリングそのものです。リタイア後の生活は、健康でパートナーと一緒に行動できる趣味の世界を広めることが大切だと実感しているこの頃です。

東海道を歩く（２期北見　　）

今知られている東海道五十三次は、１６０１年、徳川家康のときに定められたものだという。全長約４２０km、男の人なら順調にいけば１３日で行ったそうだ。私は２０日間で歩いた。１９９４年である。きちんと記録をとっていなかったので、家計簿の隅に数行書かれてある文を見返して「東海道を歩く」を書くのは面映ゆい。

その頃、夫は煙草を止めた後肥満となり、「このままだと５７歳で死にます」と医者にいわれ、せっせと歩いて減量していた。職場が変わり少しゆとりができたこともあり、「それなら歴史を振り返りつつ東海道を歩こう」ということになったのだ。その２年前に、私が日本歩こう会主催のウオーク（箱根から皇居までの小田原藩の登城コース）を４日間で歩いたので、その続きを･･･の思いもあった。

９４年１月３日、箱根湯本を発つ。休みを利用して数度行き来しつつ名古屋の「宮」まで行き、夏休みに４日間続けて歩いて「大津」へ着いた。初めは牽制しあって無理をして歩きもしたが、その頃には足も慣れ、気持ちにも余裕ができていた。行けるところまで行って泊ることにしていたので、道に迷っても行き止まりにぶつかって引き返さなくてはならなくなってもさほど気にしなくなっていた。もっとも一日かけて歩いた道を電車の窓越しに見て、１５分で通り過ぎた時にはさすがに顔を見合わせてしまった。

最終日は８月１６日、盆の送り火の日だった。「大津」から山科へ抜け「京」へ入った。夫の同僚が４人、バンザイで迎えてくれ感激したが、この日の暑さは一段と厳しく「やはり京都の夏は暑い」と実感した。

京都だけは宿の予約をしたが、それ以外はいつも日暮れになったら宿を捜すことにしていた。「袋井」では小さな商人宿しかなく、お風呂が一つなので入口で見張ってもらって入らなければならなかった。

昼食も、食事をする所もコンビニもなく、とんでもない時刻になったり抜きになったりした。「石部」で駅が見えたので「やれ嬉しや」とかけ寄ってみたがパンさえなく、真新しい小さな駅には客が一人座っているだけということもあった。

途中いくつかの「宿」はＪＲで通過してしまったが、この時は箱根から京都まで３００kmほどを１６日かかって歩いたことになるだろう。

人など歩きそうもない、自動車ばかりが走り過ぎる山あいの道路に捨てられていた５匹の子猫と、これも山の中の車道脇に繋がれていた母犬と２匹の子犬のことは、今思い出しても心が痛む。しかし道中にあった史跡はそれぞれの歴史を語りかけてくれたし、駿河湾に面した千本松原と白い富士や、今も住み続けている「有松」の豪壮な古い屋敷などは、そこにいるだけで満ち足りた思いがした。そして通り過ぎる何もない小さな町々のたたずまいや人々の暮らしぶりを見、時には二言三言ことばを交わしたこと、ニッコリ笑ってあいさつし合ったこと、わざわざ私たちに近寄って「東海道を歩いているのかね。この辺りは昔は・・」などと話しかけてくれた人、そういうことも嬉しくて、ずっと歩き続けたのだった。

第６章　寄付の報告

会計幹事：吉野　(2)

昨年来皆様に頂いたご寄付を以下に報告し、御礼に代えさせていただきます。金券や物品の寄付も歓迎します。いただけるものがございましたら、ＯＢ会役員又は田村総務委員長[TEL:　　(自)／(携)／ﾒｰﾙ:　　]までご連絡下さい。

小屋会計への寄付（2000.12.07 現在）	
円	諸角　(5)＆諸角　(5)
円	１期(　　円×３回)
円	宮崎　(2)
円	左藤　(12)
円	池原　(8)
円	田上　(1)吉田　(1)吉田　(1)松本　(1)望月　(1)渡邉　(2)北見　(2)多田　(2) 金田　(3)諸節　(3)井田　(3)高田　(4)服部　(7)松本　(7)坪　(7)細田　(7) 早坂　(8)須藤　(8)高橋　(8)綾部　(8)松本　(8)丸山　(10)山川　(12)板垣　(16) 渡辺　(17)野住　(19)佐々木　(26)松田　(31)伊藤　(31)小野　(34)
円	塚原　(2)平林　(3)
円	吉野　(2)高須　(5)久保木　(7)桜井　(11)土生　(30)
円	福島　(35)
円	藤岡　(1)塩谷　(3)谷上　(4)斉藤　(4)岡本　(5)加納　(7)鈴木　(7)平沼　(8) 早坂　(8)三浦　(9)下村　(10)榊原　(11)安藤　(11)村松　(13)小口　(14) 向井　(18)勝山　(18)小松　(19)作山　(20)高野　(25)渡邉　(36)
円	林栄　(20)
円	桑原　(1)藤林　(2)岩上　(2)渡辺　(3)白井　(3)斉藤　(4)横山　(4)中村　(5) 中村　(5)永井　(6)菅谷　(6)橋本　(7)古宮　(7)菅谷　(7)小出　(8)溝田　(8) 三浦　(9)大森　(11)中村　(13)鈴木　(14)狩野　(14)中村　(15)西浦　(15) 萩生　(15)丸茂　(23)安藤　(24)八木　(24)永田　(25)小宮　(26)笹倉　(30)竹澤　(30) 田中　(30)合掌　(33)田中　(34)田村　(34)松下　(34)曽根　(35)冨士田　(37)
円	岩科　(8)日渡　(9)中島　(15)寺島　(22)寺島　(22)佐々　(37)
円	宮本　(2)南雲　(7)太田　(13)上野　(14)岩船　(16)北林　(30)原　(33) 井口　(34)富澤　(35)
円	金子　(5)
円	原　(4)泉　(4)北村　(7)野田　(11)高橋　(11)榎本　(12)牛窪　(15)山口　(18) 藤倉　(21)溝畑　(21)伊藤　(23)北沢　(24)大津　(24)上村　(25)中西　(28) 福島　(29)下出　(30)細谷　(38)
円	亀井　(5)、亀井　(5)、藤森　(30)、藤森　(32)
物　品	菅谷　(6)：ﾃﾚｶ　　円、図書券　　円、ﾚｺｰﾄﾞ券　　円 吉野　(2)：コンロ型ストーブ 諸角　＆　(5)：テレカ　　円 伊藤　(31)：ｳﾚﾀﾝﾏｯﾄ１枚、３人用テント一式

ｽｶｲﾗｲﾝ補助	下村　(10)　　：現金　　円

一般寄付	藤井　(33)　　：現金　　円

ﾘﾌﾚｯｼｭ2000への寄付	
	諸角　(5)＆諸角　(5)：現金　　円、ビール１ケース、アイス２０個、ジュース１０本
	菅谷　(6)　　：現金　　円、ビール券５枚、QUO カード　　円
	竹村　(13)　　：日本酒１本、ビール券５枚
	吉野　(2)　　：ビール券５枚
	伊藤　(31)　　：日本酒１本
	藤井　(33)　　：泡盛１本
	神　(29)　　：QUO カード　　円

下村　　さん(10)からのご寄付

去る４月１日逝去された下村　　(7)のご夫人蓉子さん(10)より、スカイライン発行援助として　　円のご寄付を戴きました。現役ＯＢ一同心より御礼申し上げます。以下は下村さんのメッセージです。

「スカイライン発行にあたり支援金の目途がたっていないことを知りました。差し出がましいようですが、私に少々資金援助をさせていただきたいのですが、いかがでしょうか。生前、下村がワンゲルの皆様に大変お世話になったことや、葬儀の際の皆様方のご厚情には感謝してもし尽くせないのですが、少しでもお礼をしたいという思いからです。‥」

下村さんからは、総会の２次会用にビールをたくさん送って頂きました。重ねて御礼申しあげます。

第７章　第２回ＯＢ山行・第２５回シニア月例山行合同開催のお知らせ

シニア OB 月例山行会委員長：塚原　(2)
総務委員長：田村　(34)

ＯＢ会の第２回山行は、シニアＯＢの第２５回月例山行と合同で行なうことになりました。

第１回ＯＢ山行はＯＢ総会翌日に１９名の参加を得て北横岳で開催されました。今後は年２～３回開催する方向です。一方シニア月例山行は９９年１月にスタートし、既に２４回実施されております。今回はこの２つの山行を合体し、山梨の茅が岳登山を計画しました。幅広い年代層の仲間と、早春の茅が岳から真白い八ヶ岳と南アルプスを眺めましょう。大勢の参加をお待ちしております。

①日時：２００１年３月２４日(土)、韮崎駅前９：３０集合。日帰り。
②行先：茅が岳　(茅が岳登山口より一周、3"40'標高差 754m[地図(25000 図)韮崎、若神子、茅が岳])
③交通：韮崎駅＝登山口間はマイカーで送迎します。マイカー出動可能の方はお申し出下さい。

新宿	立川	八王子	甲府	韮崎	
	6:43	6:55	8:44		(各駅)
			8:54	9:08	(各駅)
7:30・	7:52	8:01	9:08	9:18	(あずさ 51 号)

④会　費：５００円（通信費、写真代）
⑤温　泉：時間のある方は近くの温泉で汗を流してからお帰り下さい(明野ふるさと太陽館・百楽泉)
⑥その他：昼食及び登山に必要な携行品は各自ご持参下さい。雪の心配は殆どないですが念の為軽アイゼンをお持ち下さい。小雨決行。
⑦お申込み：３月１０日(土)まで
・ＯＢ会員は田村あてに電話、Ｅメール等でお申込み下さい。
田村　(34)：TEL:　(自宅)／　(携帯)メール：
・シニアＯＢ会員は通常通り各期委員を通して塚原委員長あてお申込み下さい。

会費納入のお願い

２００１年度年会費等の納入状況は次の通りです。会の運営は全て会員の皆様の会費納入にかかっております。未納の方は早目にお振込み下さいますようお願い申し上げます。

正会員　名
2001 年度年会費納入者　名(@　円)
前納会費納入者(別掲)　名 (@　円)

なお振込みは以下の郵便局振込口座にお願いします。用紙は郵便局窓口のものをご使用下さい。

口座番号：
加入者名:

前納会費納入者（2000.12.07 現在）　次回の会費支払いは２００７年度です。

嘉納　(1)	田上　(1)	吉田　(1)	松本　(1)	望月　(1)	藤岡　(1)
塚原　(2)	宮崎　(2)	渡邉　(2)	斉藤　(2)	多田　(2)	宮本　(2)
西村　(2)	井上　(3)	金田　(3)	平林　(3)	諸節　(3)	塩谷　(3)
斉藤　(4)	永田　(4)	水田　(4)	高田　(4)	泉　(4)	金子　(5)
中村　(5)	中村　(5)	岡本　(5)	永井　(6)	岡田　(6)	服部　(7)
松本　(7)	北村　(7)	加納　(7)	坪　(7)	鈴木　(7)	古宮　(7)
平沼　(8)	早坂　(8)	早坂　(8)	高橋　(8)	綾部　(8)	丸山　(10)
山川　(12)	村松　(13)	上野　(14)	板垣　(16)	渡辺　(17)	北沢　(17)
勝山　(18)	作山　(20)	西田　(20)	林　(20)	高野　(25)	佐々木　(26)
北林　(30)	笹倉　(30)	小野　(34)	富澤　(35)	渡邉　(36)	冨士田　(37)

ＯＢ小屋委員会からのお知らせ

２月雪下ろし協力のお願い

本年度のＯＢ小屋の事業計画にもありますように、２月にＯＢ主催の雪下ろしを検討しております。

（１）日程（いまのところ）２００１年２月１７日（土）１０時五八木荘集合

（２）募集人数：10名以上

（３）お申込み、問い合わせ先：

笹倉　(30期)　E-mail：

菅谷　(６期)　E-mail：　　電話：

伊藤　(31期)　ＦＡＸ：　　(伊藤MG宛)

（４）その他：天候や参加状況により、予定が変動する場合がございます。そのため、参加可否が不明の場合は、仮申し込みだけでもしていただければ幸いです。

総務委員会からのお知らせ

ＣＤ－Ｒ販売のご案内

この度以下のような内容のＣＤ－Ｒを販売することとなりましたので、是非この機会にお求め下さい。画像は基本的にJPEG、資料類はWORD2000及びPowerPoint2000で作成されています。異なるバージョンをご希望の方はその旨お申し付け下さい。一部対応できない場合がありますのでご了承下さい。

（１）内容：

【２００１年度総会・第一回ＯＢ山行 編】

・２００１年度総会、第一回ＯＢ山行の写真（ＪＰＥＧ数十枚程度）

・総会時配布資料

【リフレッシュ２０００ 編】

・リフレッシュ２０００の写真（ＪＰＥＧ数十枚）

・関連資料

【カラーで見る会報 編】

・会報Ｎｏ．１６、１７、１８

【ＯＢ会基本資料 編】

・会則及び細則類

（２）メディア：ＣＤ－Ｒ１枚

（３）価　　格：　　円（郵送費込み）

（４）お申込み：３４期田村まで電話(　　)、FAX(　　)、メール(　　)にて、期とお名前を添えてお申し込み下さい。
お支払いに関しましては振込、送金、書留等、幅広く対応いたします。

==========

ＹＷＶＯＢ会 会報１８号

平成１２年１２月１６日発行

発　　行：横浜国立大学ワンダーフォーゲル部ＯＢ会

発行責任者：嘉納　　(１期)

編集責任者：藤井　　(33期)

編　集　局：　　/